

6・22
中央行動

炎天下にも負けず最賃くんも登場して

最賃引き上げを訴え続けた1日!



今年の最低賃金の目安額の審議が7月1日より始まります。

6月22日、生協労連から30名の参加で、6・22中央行動にとりくみました。当日は、朝8時からの池袋駅前宣伝行動を皮切りに、厚労省前での座り込み行動を358分間おこないました。(358分は、1000円目標と642円の差額分)



厚生労働省前の座り込みスタート集会では、しずおか生協労組の佐伯さんは、フルタイムで働けば人間らしい文化的な生活ができる賃金をもらえるのは当たり前と訴えました。



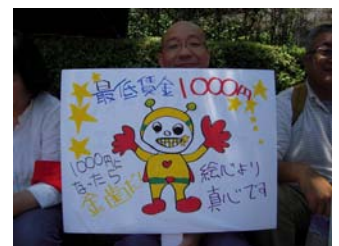
かながわ生協労組、コープネット労組(左)のなかまは、最賃ソングを歌って集会を盛り上げました。



最賃くんに扮装した生協労連書記局の大井さんは、参加したなかまに「時給1000円になったら何がしたい?」とインタビュー。



プラカードコンテストでは、かながわ生協労組東さんの作品が優秀賞!(左)生協労連書記局の渡邊さんの作品は佳作(下)



中央・地方最賃審議会はこれから具体的な審議に入ります。6・22当日、最賃闘争本部のメンバーは、厚生労働省交渉をおこない、景気回復と被災地の復興のためには、最賃引き上げが不可欠だと訴えました。例年と同じような審議にならないよう、厚生労働省から労働局へも通達するよう求めました。これからの私たちの運動が重要です。各地で大きく運動をおこないましょう。そして7・28中央行動には全国各地からの参加を呼びかけます!